



相愛中学校  
相愛高等学校  
SOAI JUNIOR HIGH SCHOOL  
SOAI HIGH SCHOOL

## 相愛中学校・相愛高等学校

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1番23号

Tel 06-6262-0621

### パート I. 最高責任者による国連グローバル・コンパクトへの継続的支持の表明

ステークホルダーの皆様へ

私は、相愛中学校・相愛高等学校が人権、労働、環境、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト 10 原則を支持することをここに確認し、ここに表明いたします。これは、国連グローバル・コンパクトに対する当団体のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様のフィードバックをお待ちしています。

このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、当団体をはじめとする各種組織に対して提案された国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当団体が行った取り組みについて説明しています。また、当団体の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当団体の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様にご公表していきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

相愛中学校・相愛高等学校  
校長 園城 真生

## パート II. 取り組み状況

### 2021 年

2019（令和元）年度当初より SDG s の達成目標の一つである「質の高い教育」の一環として、SDG s をコンセプトとした探究学習や校外学習などを全学的、多角的に推進している。2021（令和 3）年度においても、例えば、企業（教育と探究社）が開発した課題解決アクティブラーニング・プログラム「ソーシャルチェンジ」に取組み、身近な社会課題と SDG s をテーマに、その解決法を探究していくことで、地域や社会を動かし、貢献していく力の育成を図った。また全国の龍谷総合学園加盟校の高校 2 年生を対象とした宗門校ならではのアクティブ・ラーニング夏期交流プログラム「仏教×SDG s」への参加に向けて、本校の高校 2 年生全生徒たちにもグループワークとプレゼンテーションを取組ませることで、「自利利他」と「共生」の精神に基づく自己内省と他者への敬愛の心に裏付けられた協働性を育成した。校外学習では、2019（令和元）年 6 月に 大阪国際平和センター（ピースおおさか）との間で締結した平和教育に関する連携協定をもとに、高等学校音楽科の生徒たちが、同センターが主催する「終戦の日戦争犠牲者追悼式」平和コンサートに出演協力した。一方で、吹奏楽部による老人ホーム慰問コンサートは予定をしていたにもかかわらずコロナ禍の影響で実施には至らなかったが、次年度に向けても引き続き、地域との連携貢献活動を検討、実施していくこととする。SDG s に関しては、前年度までの取組みを土台として、宗教部や教務部をはじめ、あらゆる部署と横断的に連携しながらブラッシュアップに努めるとともに、様々なアクティブラーニング・プログラムや校外学習を拡充していくものとする。

### 2022 年

SDG s の達成目標の一つである「質の高い教育」の一環として、SDG s をコンセプトとした探究学習や校外学習などを全学的、多角的に推進している。2022（令和 4）年度は、全国の龍谷総合学園加盟校の高校生を対象としたアクティブ・ラーニング夏期交流プログラム「仏教×SDG s」への参加をめざし、高校 2 年生全員がグループワークやプレゼンテーションに取組み、校内にて選抜されたグループが本校の代表として同プログラムに参加し、そこでのグループワークを通して策定したアクションプランを持ち帰り、本校の全生徒に向けて発信した。また大阪国際平和センター（ピースおおさか）との間で締結した平和教育に関する連携協定をもとに、同センター主催の「終戦の日戦争犠牲者追悼式」における平和コンサートに音楽科の生徒たちが出演協力するなど、地域との連携や貢献を目的とした校外活動を行った。これまで観光的要素が強かった宿泊研修においても、教科活動と探究学習の SDG s との結びつきを生徒に自覚させられるような活動コンテンツを設定した。一例としては、中学 2 年生の宿泊研修「オータムスクール」において、重度障がいにより外出困難者である従業員がロボットを遠隔操作しサービスを提供している常設実験カフェ『分身ロボットカフェ DAWN ver.8』を訪問し、当事者との対話を通じて障がい者と社会のつながりについて学んだほか、東京都教育委員会と大手企業が提供する体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を訪問し、海外でのさまざまな生活場面をイメージして作られた街並みや雰囲気の中で実践的な英会話に取組むことで、グローバルな価値観と視野を広げることができたと考える。今後も校務運営各部署、各学年、各教科が協力して SDG s の活動を横断的かつ網羅的に推進していくことで、生徒の SDG s への意識向上を確立していく。